

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様と情報を共有しつつ、お子様一人ひとりに合った支援内容を考えて個別で取り組めることです。	日頃から支援後のフィードバックの際に保護者様から伺った情報を指導員間で共有し、お子様に合った支援内容を考えています。	引き続き保護者様から細かく情報を伺い、お子様一人ひとりの様子にも目を配りながら支援内容が充実できるように努めていきます。
2	事業所の立地が駅から近くコンビニも付近にあるため、買い物学習など実生活につながる経験を積むことができます。	不定期ではありますが、買い物や外出イベントを企画しています。	さらに買い物や外出の機会を増やせるように、イベントを計画したり、日々の支援の中に取り入れていけるようにします。
3	必要に応じて保護者様と学校等の関係機関の連携ができるように意識しています。	関係機関連携について保護者様に提案することで、学校と情報の共有、すり合わせができる機会につなげられるように努めていきます。	モニタリングや保護者向けイベントの際に関係機関との連携が図れる機会があることを保護者様にお伝えしながら、必要に応じて学校等と密に情報共有が出来るように努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎の際に保護者の方とゆっくり話す時間が取りづらい点。	契約している駐車場がなく、ロータリー等に停車した状態になることが多いため。	駐車場の件では、日頃からご不便をおかけしております。必要に応じて支援時間以外に保護者様の相談をお伺いする時間を設けていきます。
2	保護者様が支援の様子を詳細に見学できる機会が少ない点。	放デイのお子様は、自力来所や本人のみの来所が主なため。	お子様が単独で来所して直接保護者様とお話する機会が少ない場合は、電話やメール、連絡ノートで詳細に支援の内容をお伝えできるように工夫しています。また、ブログやインスタなどでも様々な情報や支援内容を共有するように努めていきます。
3	保護者様向けイベントの開催の機会が少ない点。	現時点で年間計画の作成が完了しておらず、開催が不定期になっているため。	来年度は保護者様向けのイベントの年間計画を作成し、事前に保護者様にお知らせしていきたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」東古川駅前事業所

公表日 2026年 1月 7日

2025年12月16日 43名

利用児童数 (保護者数：39)

回収数

32名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	2	0	2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	0	0	1	・事業所が2階で階段のみなので、バリアフリー化としては違うのかなと思います。	・校舎が2階にあるので、階段の利用が必須になりますが、けがをしている際や階段の昇降に不安を感じる場合には、保護者様のもとまで送迎し安心して行き来できるようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	3	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	1	1	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	10	12	・きらりの中で他のお子さんや遊んだり話したりする機会をもらえているので、それで良いと思う。	・地域のお子様同士での交流の機会を持つことは出来ていませんが、夏祭り等のイベントの際は、ご利用者様のごきょうだいやお友だちにもお声がけし、ご参加頂いています。
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	4	1	6		・年に3～5回保護者様向けの「きらりカフェ」を開催しております。 今後様々なテーマで開催し、より多くの保護者様へ情報を提供していけるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	2	0	0	・定期的に通うことができていないため。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	3	1	1	・定期的に通うことができていないため。 ・不定期利用のため、定期的には難しい状況だと思います。	・不定期利用いただいている保護者様にも、モニタリングの機会などを通してお子様の様子について共有させて頂くよう努めていきます。

事業 への 説明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	2	0	1	・職員さんによる。	・今後もお子様一人ひとりの特性に合わせたかわりを持っていけるよう、職員間での共有や連携を密に取っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	2	5	・参加したいが、なかなか日にちが合わない。	・年に3～5回保護者様向けの「きらりカフェ」を開催しております。 ・今後様々なテーマでの開催を検討し、より多くの保護者様へお声がけ出来るよう努めていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	0	0	5		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	0		
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	6		・毎月、職員間で非常時の対応について話し合う機会を作っています。また、お子様にもご参加頂く防災訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1	0	4	・まだ事故や怪我がないため。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	2	0	1	・先生とゲームすることや工作が楽しいそうです。 ・もっと回数が増えると嬉しいと本人も感じています。	・不定期で利用されている方にも、出来る限り利用の機会を提供できるように利用調整を行っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	2	0	0	・しいていえば、定期的に通いたい。 ・利用時間が19時→18時になって利用しづらくなった。 ・丁寧な支援をいつもありがとうございます。	・日頃より事業所の運営にご協力いただきありがとうございます。 今後も利用時間、利用頻度に関して、より多くのご利用者様に来所いただけるよう、検討を続けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所		2026 年 1 月 7 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		週コマ作成の際に1時間ごとにコマを調整しているため、お子様それぞれがご利用できるスペースは確保しています。お子様の特性に合わせて、環境設定を行っているため、個室などの利用もできるような環境を整えています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		職員の公休が被ると人数が少なくなる場合がありますが、基本的に職員が1対1でお子様とかわることができる状態をコマ表作成の時点で設定しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室内環境は、視覚的に情報伝達したり、イメージできるように掲示物や生活空間を見通し立てられるように環境設定の工夫を行っていますが、当教室が2階にあり、階段移動になるためバリアフリー化できているとは言い難い部分もあります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃や消毒を行っています。換気時間を設定し、快適に過ごせるように心がけています。空調もその日の気温に合わせて設定しています。環境設定も、ケガなどお子様に危険が生じないように角をクッションで防ぎ、教室内を広くと使用できるよう教材等は目隠しをし、地面に置かず収納しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の状況に合わせて、個室を使用できます。気持ちが上ったり、パニックが生じたときは、すぐに移動できるように、基本的には空けています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝終礼で、業務改善に努められるように情報共有を行っています。また、職員の業績評価などの機会を設けているため自身の日々の目標設定や振り返りの機会を設定しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1度事業所評価を実施しています。その際に、保護者様から意見をいただいています。その集計をもとに、職員間で話し合いを進め、業務改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に職員と管理者との1 on 1を設定しています。その際に、業務・職場内の状況等で感じていることを共有し、管理者発信で職場の風通しがよくなるように環境を整え、業務改善につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		会社内での内部監査を定期的に行い、書類やコンプライアンスについての確認を行っています。評価を受けることで、再度業務を見直す機会を設定し、業務改善につなげています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に会社主催の職員研修を実施しています。また、外部研修も希望制で受講することができ、研修の機会は十分に確保されています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは指導計画に基づいて組み立てられ、常に職員同士で情報の共有しながら作成されています。記録は公表されています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		一人一人のお子様に対してアセスメントを定期的に行い、職員同士でお子様と保護者様のニーズや課題を相談しながら、放課後等デイサービス計画を作成しています。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者はもとより、お子様の支援に関わる職員が皆で話し合っており、お子様の最善の利益を考慮した検討を行っています。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画は職員間に共有され、計画に沿った支援を行っています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは定期的に行っていないが、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントは行っています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービス計画では、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえて、本人だけでなくご家族様、学校、地域と情報を共有しながら、お子様の支援が適切なものになるようにそれぞれと話し合っており、具体的な支援内容に活かしています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムを立てる際は、職員の間で相談しながら行っています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ねらいに応じて活動プログラムを固定化する時もありますが、お子様の様々な面の成長を促すため、活動プログラムを固定化せずに工夫しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況に応じて、個別活動だけでなく、同世代のお子様同士で関わり合うことによって成長できる集団活動を取り入れています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼や終礼の中で、支援内容や反応について職員間で振り返りを行っている。どのような反応が見られたのか、次回に活かせる部分はあるかを共有し、連携した支援ができるように努めています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援記録を作成し、朝終礼時に今日の支援の中で気になったことを、共有し職員間で周知しています。また、個別に疑問点や、支援での困り感等を職員同士で話し合うことで利用者様の状態を把握しています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の活動ごとにお子様の反応、それに対する指導員の声掛け、それによる変化などを記録しています。記録をもとに、他職員との連携を図りながら、お子様にとってよりよい支援に繋げていけるように検証改善を行っています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6カ月に1度、見直しと更新をしています。支援で見受けられた成長や、今後の課題などに加え、保護者様の思いも踏まえながら見直ししています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○	地域交流の機会は設けられていませんが、それ以外の3つは組み合わせ支援を行っています。今後地域との関わりも持てるように努めていきます。	地域との関わりを持つことも検討していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様の様子や状態に合わせて、活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。職員が決めたことだけでプログラムが進んでいくことがないように、双方向のやり取りで相談しながら支援を進めています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議や関係機関連携には、担当指導員、管理者、児童発達支援管理責任者が参加し、事業所での様子や今後の対応等を具体的に共有する中で、他福祉サービスとの連携を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育所、幼稚園、小学校、提携医との連携を図り、お子様の支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様を通して情報を得たり、関係機関連携で訪問し、お子様が安心して活動したり過ごしたりするにはどうしていけばよいか、一緒に考えていく機会を設けています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報提供をしながら関係機関連携を図り、相互理解が深まる体制を整えています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供ができる体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	外部からのスーパーバイズの機会は少ないですが、事業所内研修で定期的に助言を受けたり、学習する機会を設けたりしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在、地域との交流活動の機会は積極的に設けられていません。今後地域との関わりも持てるように努めています。	必要な場合は、機会を設定します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者、児童発達支援管理責任者を中心に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後に事業所での様子を口頭でお伝えしたり、近況や課題について聞き取りをしながら共通理解ができるように努めています。支援後の時間で不十分な場合は別途日程調整してお話の機会を設ける場合もあります。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度は就労支援の相談会の機会があり、対象のご家族様には情報提供をしました。今後も保護者様向けの研修・情報提供の機会を作っていくように努めます。	イベントの年間スケジュールを作成し、来年度以降も開催の機会を定期的に設定できるように進めていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明書等について管理者からお話しています。変更等ある際はその都度ご説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		担当者会議やモニタリング、計画更新の際に保護者様に意向を確認してお子様を尊重した計画作成ができるように努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		不定期利用等で直接お話しが難しい際には先にお電話で支援内容をご確認いただき、利用の際に再度書面でご確認いただいて同意を得られるように努めています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて保護者様と日程調整して面談する機会を設け、悩みや相談を伺う機会を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		人数や対象に限りがあるため全ての保護者様に参加いただくことは難しい中ですが、きりかふと題して保護者様向けの座談会を実施しています。開催の頻度やテーマについて職員間で話し合いをしつつ、保護者様のサポートも充実できるよう努めています。	より多くの方にご参加いただけるように、開催日程を検討しお声がけしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様の苦情に対して会議で職員間で話し合い、再発防止のために改善策を考えて取り組んでいます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやInstagramで活動概要や行事を配信しています。またLINEで事業所からの連絡事項等を配信しています。	

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	関係機関との連携やSNSなどへの掲載の際は、保護者様の同意を得ています。また、事務所内など複数の人の目に触れる場面ではインシタルで記載をするなどの配慮もしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	保護者様へは情報伝達のためにお知らせを記載した用紙をお渡ししています。また、お子様の特性に合わせて絵や写真を使用しながら説明を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現在、地域の方を招待する機会が設けられていません。	今後、必要に応じて検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルを保護者様が閲覧できるよう玄関に設置しています。また、定期的に研修及び訓練を行いながら改善策を話し合っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に会議及びお子様を含めた訓練を行っています。また、非常用靴の非常食品などの賞味期限や消費期限を確認しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時にお子様の健康状態を確認し職員間で共有を図っています。また、服薬の変更なども保護者様から伺いその都度、職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	イベントでお子様へ食品の提供がある時は、その都度、アレルギーの有無と食品の成分表を保護者様と確認しながら提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、定期的に研修、訓練、施設内設備の確認を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全計画に基づく訓練についてSNS及び施設内に掲示しご家族様へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットに関する状況及び方針を口頭で職員間で共有した後、報告書にて再度職員間で共有しています。また、社内でも互いに共有し事故防止のために危険予測を図れるよう努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	年に2回以上、社内外の研修に参加しています。また、事業所内でも日常から相談をしやすい雰囲気づくりと、保護者様の相談支援を積極的に行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	定期的に社内研修を行い、身体拘束の定義を職員間で共有しています。拘束に当たる事項については事前に保護者様に相談し了解を得て、個別支援計画書にも記載しています。	